

福田寺だより

発行

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

 神奈川県小田原市飯田岡二五七
 電話 0465(36)2755

いのちの重み？

日本ではようやくコロナが収まってきて、日常生活が戻りつつあります。この二年間コロナにより日常生活が失われ、全ての人々が様々な分野で社会生活の激変を経験しました寺院においても、葬儀や法事といった供養の場が今までと違った形で執行されるようになりました。葬儀は蜜を避け近親者のみで行い、短時間の儀式修法で火葬をして、お骨を骨壺に収め終了。法事では家族のみの少人数で済ませる。葬儀も法事も会食など出来ず、親族や近い人故人を偲ぶ場など勿論持てません。コロナ禍ですから、当然の対応でありますし、何らかの方法で供養する気

持ちが失われていないのはせめてもの救いであります。住職としてもどのような形であれ、供養がしつかりなされていればそれで十分ではあります。しかし、ひとりの人間の生命が現世から消え去るとき、亡き人の生きた期間の長短にかかわらず、限られた家族だけで淡々と執り行わざるを得ない葬儀の様子をみて、忸怩たる思いになるのは私だけでは無いと思います。

皆さん、自分の命を見直してみましよう。自分の命がこの世に生まれ出るには、生まれる前から何千何万何億という先祖が関わっていて、その一つも欠けたる事がないとき、今

の自分が生まれることが出来ることは、前にもお話したことでご理解いただけていることと思います。では、その一番最初の元は誰でしょう？。私の命の元は人類のはじめまで遡っても解明出来ないものと思います。全くの謎であり不可思議な世界です。キリスト教では神が創造したものであるとしてアダムとイブを登場させました。しかし仏教では全知全能の神などいません。解らないものは解らないのです。しかし解らないから放っておいたのでは、真理の探究を真骨頂とする仏教の教えがなくなってしまう。仏教の最終高度な教えとしての密教では、この命の元を「阿字本不生」として理論付けました。つまり私(人間)のいのちの元は「阿字本不生」であるとするのです。

「阿字本不生」の世界は不生不滅であり、実体として存在するものでも無く、しかし全宇宙を包摂したもので有り、言い換えれば大日



如来そのものであります。ここに密教を流布した弘法大師の教えである「即身成仏」、つまり私はこの身そのままで大日如来であるとする成仏(悟り)思想が成り立つのです。

なぜ、長々と上の説明をしたのかといいますが、私達一人一人のいのちはとてつもなく大きく重いものであり、何物にも代えがたいものであり、自分にとって自分の命が全てで

あると同じく、全ての人にとって一人一人のいのちが一人一人の宇宙を持つていることを理解していただきたかったからであります。

死にゆく人のいのちは、それほど大きく重たいものであります。そのいのちが消えた時どのような葬儀であるべきか、もう一度熟考する必要があるのではないのでしょうか。

再びIT社会の疑問

IT社会といわれて久しい。IT革命という言葉も生まれ、ITの進歩により地球上の社会で、経済活動をはじめ様々な分野で革命以上の変革がおきています。世界中がITにより動かされているように見えます。初期の頃は道具に過ぎないのだから上手く使いこなせば良いだけのこと、といわれ使いこなさなければ使わないだけの事、と高をくくって

いた身としては、今やその程度では済まされない事に狼狽している。確かにヴァーチャルリアリティーの体験やeスポーツなどは参加しなければ済むはなしです。しかし、電子マネーによるキャッシュレスの普及や飲食店での注文方法など、実生活での利用を余儀なくされると、生きてゆくための取り残された感に戸惑いを覚えます。

このような些細な事はさておき、地球レベルの問題としてITの急速な進化による弊害を考えてみたいと思います。少し見方を変えてITの進歩により人間はどれだけ幸せになったのか?。今地球上では飢餓や貧困が止まるどころか増え続けています。世界中で紛争が激化しています。地球環境は破壊され続け、新型コロナウイルスを終息させることも出来ません。AIという知能まで作り出し万能と思われるITの進歩が、人類の平和に何ら貢献していない現状、否むしろ犯罪や不正を助長している現状をどう捉えたら良いのでしょうか。

人間にとって幸せとは何か?。それは地球上の全ての人間が、衣食住が足りている状態が続くことであると思います。人々がそれ以上を望まず、それ以下の人々に分配する。ITは地球上のあらゆる場所で、過去・現在・





未来にわたって、何が起こっているのか、何が起ころうとしているのか瞬時に情報が得られます。それこそがIT（インフォメーションテクノロジー）の真骨頂であります。地球上の全ての人間に食料が行き渡り（食）住む場所が災害から守られ（住）生活するための最低限の道具が与えられれば（衣）、紛争や災害がなくなり、人類の平和がもたらさ

れるはずですが。そうならないのはなぜか？、それは大方の人間が、衣食住が足りただけでは満足せず、それ以上の生活を享受するためにITを利用するからです。むしろ生活の利便性のため、趣味や娯楽のため等利用するのがほとんどであり、提供する側も目先の開発に力を割いています。

近年子供たちにとって、SNS上でのトラブルから発展する事件や事故が急増しているように思います。

しかも凄惨な事件が多くなっています。コロナも相まって子供たちは実体験の生活が薄らいでおり、痛さ、怖さ、辛さ等を身をもって体験せずに成長してしまいます。ヴァーチャルな遊びも増えていきます。子供たちを取り巻く環境は実体験とは逆方向へと進んでいます。このようなことが凄惨な事件を引き起こす要因にもなっているのではないのでしょうか。

IT社会の進展にともない、私達人間がどのような生き方をするのが良いのか問われてるように思います。

お願い

令和三年は、新型コロナウイルス感染症の影響でご参詣の制限もあり、檀信徒の皆様には諸々ご不自由をおかけ致しました。特に維持管理費の納入につきましては、お気を煩わせました。

未納の方は暮れのお参り時にご持参下さい。

仏教相談

誰でも気軽にどうぞ

勿論檀家さん以外の方でも
仏事に関して、

どうしたらよいのか？

どんな些細なことでも
ご相談下さい。勿論無料。

電話0465(36)2755

福田寺

新年薬師護摩供養

(申込み受付中)



例年2月8日修行しております薬師護摩供養会ですが、令和4年は次の要領で実施したく存じますので、よろしくご承知下さいますようお願い申し上げます。

今回も今年同様住職のみにて修行致します。ただし檀信徒の皆様には午後3時〜4時の間に三々五々お参りいただき、願い事の添え護摩木を火中にくべて、その後護摩札を受

取ってお帰り頂きます。当日参詣出来ない方は後日護摩札を受取りに来ていただきます。

尚、コロナの変異株の感染状況により、対応の変更があるかも知れませんが、その点もご承知下さい。

祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除(厄除け)、

身体健全、病魔退散、家内安全、

交通安全、商売繁盛、業運繁栄、

学業成就、合格祈願、安産祈願、

子授け祈願、その他

申込み・・・一月末日まで、電話可

電話 0465 (36) 2755

FAX 0465 (37) 6688

令和四年 厄年



男性(大厄)

前厄 昭和五十七年生まれ

本厄 昭和五十六年生まれ

後厄 昭和五十五年生まれ

(厄) 平成十年、
昭和三十七年生まれ

女性(大厄)

前厄 平成三年生まれ

本厄 平成二年生まれ

後厄 平成元年生まれ

(厄) 平成十六年、
昭和六十一年生まれ



元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、住職により新年のご祈禱が修法されます。ご自由に参加ください。

暮れのお参り



通常通りお参り下さい。但し出来るだけ密を避けるため日にちに余裕をもってお参り下さい。

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは連絡ください。

年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。